



# 国立大学法人豊橋技術科学大学 *Press Release*

2024年1月15日（1月17日更新）

## 令和5（2023）年度第5回定例記者会見開催のお知らせ

日時：2024年1月18日（木）10:30～11:30  
場所：豊橋技術科学大学 事務局3階大会議室  
YouTube：<https://youtube.com/live/-8fhnV9hUXs>

※同日11:30～12:00において、一般社団法人技科大テックブリッジ設立記者会見を執り行います。多くのご参加をお待ちしております。

### <記者会見項目>

- ① 豊橋鬼祭 鬼トラッキングシステム「おにどこ」2024年の実施について  
【情報・知能工学系 准教授 大村 廉／  
建築・都市システム学系 准教授 水谷 晃啓】（別紙1）
- ② 本学アジア地域初となるダブルディグリー・プログラム協定をインドネシア・バンドン工科大学と締結  
～アジアを牽引する国際的的な指導的技術者の育成～  
【情報・知能工学系長・教授 北岡 教英】（別紙2）
- ③ 自動車研究部 TUT FORMULA  
～自動車研究部の活動について～  
【機械工学専攻博士前期課程1年 福本 遼太郎】（別紙3）
- ④ 安全安心地域共創リサーチセンター防災シンポジウムのご案内  
【安全安心地域共創リサーチセンター長・教授 齊藤 大樹】（別紙4）

### <本件連絡先>

総務課広報係 岡崎・高橋  
TEL:0532-44-6506 FAX:0532-44-6509



2024年1月15日

**豊橋鬼祭 鬼トラッキングシステム「おにどこ」  
2024年の実施について**

<概要>

2024年2月11日（日）に実施予定の「おにどこ」についてご紹介します。「おにどこ」では、例年通り豊橋鬼祭「門寄り」における赤鬼位置の表示機能、AR技術を用いた仮想的な門寄り機能を提供する予定です。おにどこ実行委員会による「おにどこ」の実施は、今年を最後とし、来年以降は鬼祭の一部として継続していく予定です。

<詳細>

2018年豊橋鬼祭から開始した赤鬼・天狗の位置トラッキングシステム「おにどこ」ですが、今年で7年目を迎えます。コロナ禍以前の2020年には、6,000名を超える方々（但し、推定値）にご使用いただくとともに、コロナ禍においても、AR技術を用いた仮想的な「門寄り」を実現して、密を避けつつ鬼祭を楽しんでいただく機能を提供するなどして、地域文化である豊橋鬼祭の保存と振興に寄与してまいりました。今年も、コロナ禍が明けてようやく普段の豊橋鬼祭が再開される見込みとなる中、「おにどこ」を実施いたします。

「おにどこ」の機能としては、昨年までと同様、「門寄り」における赤鬼の現在位置を地図上で可視化する機能、及びパンフレットに記載されたマーカーをスマートホンのカメラで撮影することで、鬼の3Dモデルを仮想的に出限させる機能（「AIR 門寄り」）の提供を予定しています。

なお、これまで「おにどこ」は、豊橋技術科学大学を主体とするおにどこ実行委員会で開催してまいりましたが、このような体勢で実施するのは、今年を最後とする予定です。上記のように「おにどこ」は大変ご好評いただいております。「鬼祭に必要なアプリ」との声もいただいております。来年以降は、「おにどこ」を正に「豊橋鬼祭の一部」とすべく、安久美神戸神明社や鬼祭保存会のご協力のもと、体勢を整え、鬼祭の一要素として取り入れていただき実施する予定でおります。

おにどこホームページ：<https://o2doko.com>

<「おにどこ」実施体制>

主催：おにどこ実行委員会

豊橋技術科学大学 ユビキタスシステム研究室（大村研究室）、

豊橋技術科学大学 建築設計情報学研究室（水谷研究室）、

株式会社ウェブインパクト

協力：安久美神戸神明社、豊橋鬼祭保存会、Code for MIKAWA



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

# 豊橋鬼祭 鬼トラッキングシステム「おにどこ」 2024年の実施について

情報・知能工学系 准教授 大村 廉  
建築・都市システム学系 准教授 水谷 晃啓

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

## アプリでどんなことができるか？

### おにどこ

#### 📍 赤鬼と天狗はどこ？

赤鬼と天狗が今どこにいるかをマップ上でご覧いただけます。自分の今いる場所も確認できますので、迷わずに移動できます。



#### 🗺️ どこを通るの？

赤鬼と天狗の移動予定のルートがマップ上に表示されます。赤鬼と天狗がどの道を通るかがわかります。  
※ルート、時間はあくまで目安です。当日、変更になる可能性があります。



#### 🕒 いつ通るの？

赤鬼と天狗が立ち寄る予定の場所（神社・会所）と時間が確認できます。催事のスケジュールを確認して、お祭りにご参加頂けます。  
※ルート、時間はあくまで目安です。当日、変更になる可能性があります。



#### 📌 お祭り便利情報

お祭り参加する際に役立つ神社、会所、駐輪場、交通規制の位置がマップ上で確認できます。  
是非、これらの機能もお試しください。



ヒートマップ機能



ジャイロ機能

おにどこのユーザーインターフェース

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# 実証実験の実績（コロナ渦以前）



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# 実証実験の実績（コロナ渦以降）



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

## 掲載

水谷晃啓, 徳原峻人：地図アプリ「おにどこ」利用者の都市イメージに関する研究-「おにどこ」使用前後のスケッチマップの比較を通して-, 日本建築学会技術報告集, 29 巻 73 号 p. 1665-1670, 2023 年

DOI : <https://doi.org/10.3130/aijt.29.1665>

## 研究目的

「おにどこ」使用前後のスケッチマップの比較を行い、**デジタルマップとストリートビューによって形成される都市イメージ**の分析から、その土地に慣れ親しんでいる（土地勘を有する）人と慣れ親しんでいない（土地勘を有しない）人の特徴やその違いについて明らかにすることを目的とする。

# 調査対象について



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

対象地  
安久美神戸神明社周辺

被験者  
土地勘を有する  
豊橋市役所の職員 20名  
土地勘を有しない  
豊橋技科大の学生 25名

(回収率90%)

# 調査結果のまとめと結論

- ①「おにどこ」の利用はこの空間情報の獲得に有効であった。特に土地勘を有しないユーザーに効果的であった。
- ②「おにどこ」使用によって、目的地を中心とした都市イメージ形成を促進する可能性が示唆された。
- ③「おにどこ」のマップを中心に使ったユーザーの使用後の都市のイメージは面的に形成される傾向があり、ストリートビューを中心につかったユーザーの都市のイメージは線的に形成される傾向があることがわかった。

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# 佐野妙さんの作品でも取り上げて頂いた



月刊まんがライフオリジナル（竹書房）

2023年8月11日発売

「だもんで 豊橋が好きって言っとるじゃん！」

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

## 今後のおにどこについて



- ①豊橋技術科学大学を主体とする「おにどこ実行委員会」を主体とする実施は本年度で終了
- ②次年度以降、安久美神戸神明社や鬼祭保存会のご協力のもと体勢を整え、鬼祭の一要素として取り入れていただき実施する予定

「新しい取り組み」から定着した「地域文化(鬼祭)の一つ」へ

国立大学法人  
豊橋技術科学大学



2024年1月15日

## 本学アジア地域初となるダブルディグリー・プログラム協定を インドネシア・バンドン工科大学と締結 ～アジアを牽引する国際的な指導的技術者の育成～

### <概要>

豊橋技術科学大学は、インドネシア最高峰の工科系大学であるバンドン工科大学と大学院博士前期課程のダブルディグリー・プログラム協定を締結しました。両大学の修了要件を満たすことで、両大学大学院の学位が取得できるダブルディグリー・プログラムを2024年度から実施します。本学では、インドネシアからの留学生を受け入れると同時に日本人学生を派遣します。双方向型の連携教育研究プログラムを確立することにより、アジアを牽引する国際的な指導的技術者を育成します。

### <詳細>

本学とバンドン工科大学は、1995年に交流協定を締結して以降、活発な学術研究交流を続けてきました。2022年3月、バンドン工科大学から大学院博士前期課程学生を受け入れていた一方方向型のツイニング・プログラムが協定期限を迎えたのを契機に、両大学間でダブルディグリー・プログラムの実施について協議を開始し、2023年8月にダブルディグリー・プログラム協定を締結しました。2024年度から、本学情報・知能工学専攻とバンドン工科大学 Master's Program in Informatics の間でのダブルディグリー・プログラムを開始する予定です。



## 【プログラムの概要】

本プログラムにおいて、本学の学生は、博士前期課程1年次前期を本学、1年次後期から2年次前期までをバンドン工科大学で修学します。その後、2年次後期を再度本学で修学（4月入学3月修了）します。一方、バンドン工科大学の学生は、1年次をバンドン工科大学、2年次から日本に来日し、本学にて修学（10月入学9月修了）します。修学期間中、本学とバンドン工科大学両方の指導教員から指導を受けることにより、国際的な場面での研究活動を経験することができます。両大学の学生は本学で修学した後、英語にて修士論文を執筆し、両校に提出します。各大学にて修了認定されると、それぞれの大学の学位を取得できます。

## ＜今後の展望＞

2024年度には、本学情報・知能工学専攻とバンドン工科大学 Master's Program in Informatics の間でのダブルディグリー・プログラムを開始予定です。将来的には、他分野へ拡大することも視野に入れ、両大学の連携を深めていきます。バンドン工科大学はベンチャーの起業も盛んであり、今回、プログラムを開始するバンドン工科大学 School of Electrical Engineering and Informatics にも起業経験のある教員らが在籍しています。そうした教員の下で、学生は新興大国インドネシアにおけるアントレプレナーシップを身につけることも期待できます。また、日本及び現地企業をはじめ、特に東三河、遠州地域は、歴史的にもインドネシアと深いつながり・交流があり、今後、こうした地域・産業界との連携による本プログラムの発展を期待しています。



本件に関する連絡先

広報担当：総務課広報係 岡崎・高橋

TEL：0532-44-6506 FAX：0532-44-6509

# 本学アジア地域初となるダブルディグリー・プログラム 協定をインドネシア・バンドン工科大学と締結 ～アジアを牽引する国際的な指導的技術者の育成～



## 本学のダブルディグリープログラム

- 複数の連携する大学が開設した教育プログラムを学生が修了し、各大学の修了要件を満たした際に各大学の学位をそれぞれ取得できるプログラム。
- 本学では、博士前期課程（あるいは後期課程）のプログラムとして実施。

東フィンランド大学



シュトゥットガルト大学



IMLEX（マルチプルディグリー）



新たなパートナーとして、バンドン工科大学が加わる

# なぜバンドン工科大学？ ーインドネシア概要ー



- ▶ 約300の民族、580以上の言語
- ▶ GDP 世界16位（東南アジア1位）
- ▶ ユニコーン企業\*数で日本を上回り世界トップ14(2023)
- ▶ 東南アジアにおいてベンチャー投資額過去5年連続1位
- ▶ 首都移転計画進行中



\*評価額が10億ドルを超える設立10年以内の未上場のベンチャー企業

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# なぜバンドン工科大学？ ーバンドン概要ー



- ▶ 首都ジャカルタから140 kmに位置する西ジャワ州の州都
- ▶ 人口：2,461,553人
- ▶ 標高708 m 最低：20°C 平均：24°C 最高：29°C
- ▶ 「Paris van Java: ジャワのパリ」
- ▶ 繊維の街 = アウトレットショップ
- ▶ 食の街 = カフェ文化, スンダ料理
- ▶ 学生の街, イノベーションの街 = 17大学
- ▶ FIFA U-17 (2023) 開催地



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# バンドン工科大学(ITB)の概要



- インドネシア西ジャワ州の州都バンドン市にある工学系高等教育機関であり、同国の最高峰の国立大学。
- 欧米・日本の大学との交流も盛んに行っておりダブルディグリー・プログラムの実施実績も多数。
- THE World University Rankings 2023では1201-1500th（本学：1201-1500th）
- ITB全体には、本学修了生が教員として多数在籍。また、本学3系とITBのSchool of Electrical Engineering and Informaticsとは毎年国際会議ICAICTAを開催し研究交流がある。



## これまでの経緯と今後の予定



- 1995年 バンドン工科大学（ITB）との大学間交流協定締結
- 2004年 ITB内にインドネシア海外事務所設置
- 2007年 博士前期課程ツイニング・プログラム協定の締結
- 2022年 同ツイニング・プログラム協定が期限を迎えるのを契機に、両大学間でダブルディグリー・プログラムの実施について協議を開始。
- 2023年8月 ダブルディグリー・プログラム協定締結
- 2024年 情報・知能工学専攻とITB Master's Program in Informaticsの間でのダブルディグリー・プログラムを開始予定。

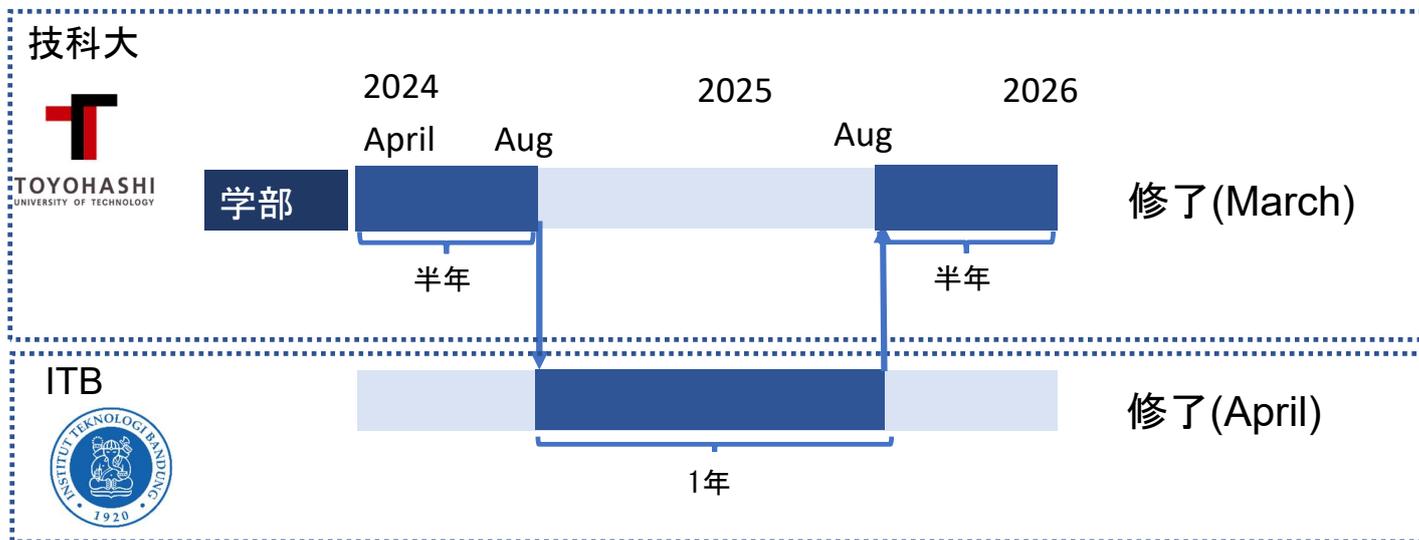


国立大学法人  
豊橋技術科学大学

## ダブルディグリー・プログラムの概要

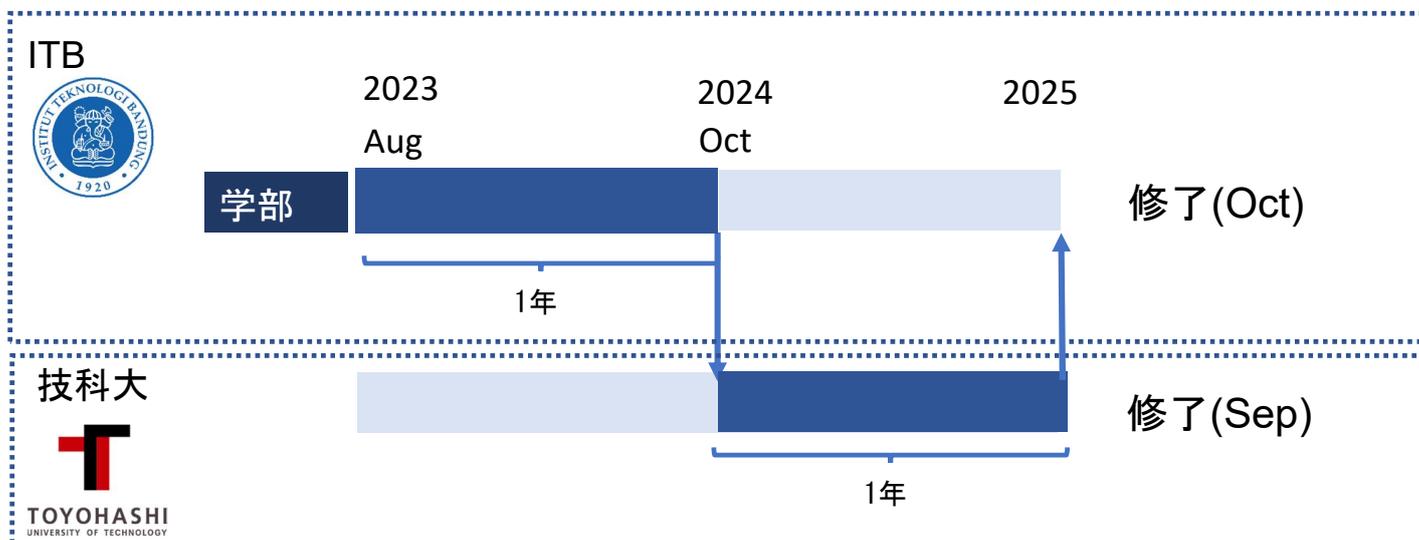
- 博士前期課程（2年間）のプログラムとして実施。
- 本学側は4月入学予定者から募集し派遣。ITBに8月から1年間留学。帰国後に修士論文をまとめ、ITBとの合同審査で合格し修了に必要な単位数と必要条件を満たすと本学とITBからそれぞれ学位を授与。
- ITB側の学生は10月から1年間学生を本学に受入。本学にて合同審査を実施し、修了に必要な単位数と条件を満たすと本学とITBからそれぞれ学位を授与。
- 派遣・受入の学生数は各プログラムそれぞれ5名程度。

# 本学学生の就学期間



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# ITB学生の就学期間



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# バンドン工科大学のキャンパスと宿舎





2024年1月15日

## 自動車研究部 TUT FORMULA

～ 自動車研究部の活動について ～

■課外活動団体「自動車研究部」の活動についてご紹介します。

### <概要>

私たち自動車研究部は、毎年開催される学生フォーミュラ日本大会に参戦しています。

学生フォーミュラ日本大会は、公益社団法人自動車技術会が主催する大会です。この大会では、学生がフォーミュラスタイルのレーシングカーを企画・設計・製作し、ものづくりの総合力を競います。

私たちの主たる活動目的は、将来の日本社会を担うエンジニアの育成です。

「技術に触れ、肌で感じる。」を基本理念に掲げ、代々新しい技術に挑戦し、2008年に日本チーム初のカーボンモノコック採用、2018年からカーボンモノコックでのEVクラス参戦など様々な実績を残しております。車輛の開発・設計・製作は学生自らが行っており、活動に必要な資金や、学生だけでは製作できない部品の外注などは応援企業のお力を借りながら、学生主導のもと、活動しています。

2024年の大会は、9月9日(月)～14日(土) Aichi Sky Expo (愛知国際展示場) で行われます。



活動の様子を X(旧 Twitter)や Instagram, HP のブログに掲載中  
詳細は下記の QR コードから



Instagram  
[@tut\\_formula](https://www.instagram.com/tut_formula)



X(旧Twitter)  
[@tut\\_formula](https://twitter.com/tut_formula)



HP  
<http://www.tut-f.com/>



お問い合わせ先：自動車研究部 [info@tut-f.com](mailto:info@tut-f.com)

# 自動車研究部 TUT FORMULA

～自動車研究部の活動について～



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

## 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

# 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

# 1. 学生フォーミュラとは

## Formula SAE Series

INTERNATIONAL®

# 1. 学生フォーミュラとは

## Formula SAE Series

1981年よりアメリカで開始された、SAE International が主催する、学生によるフォーミュラスタイルカーの競技大会



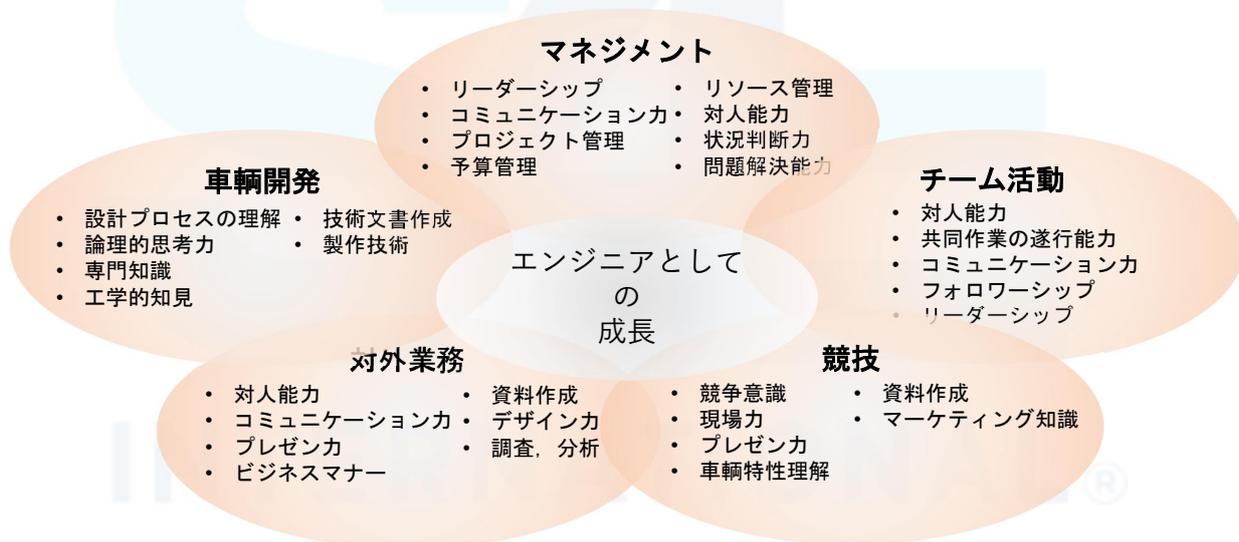
### 開催目的

実世界のエンジニアリング課題へ挑戦する過程を通じて、モビリティ関連産業で活躍する将来のエンジニアを育成する

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

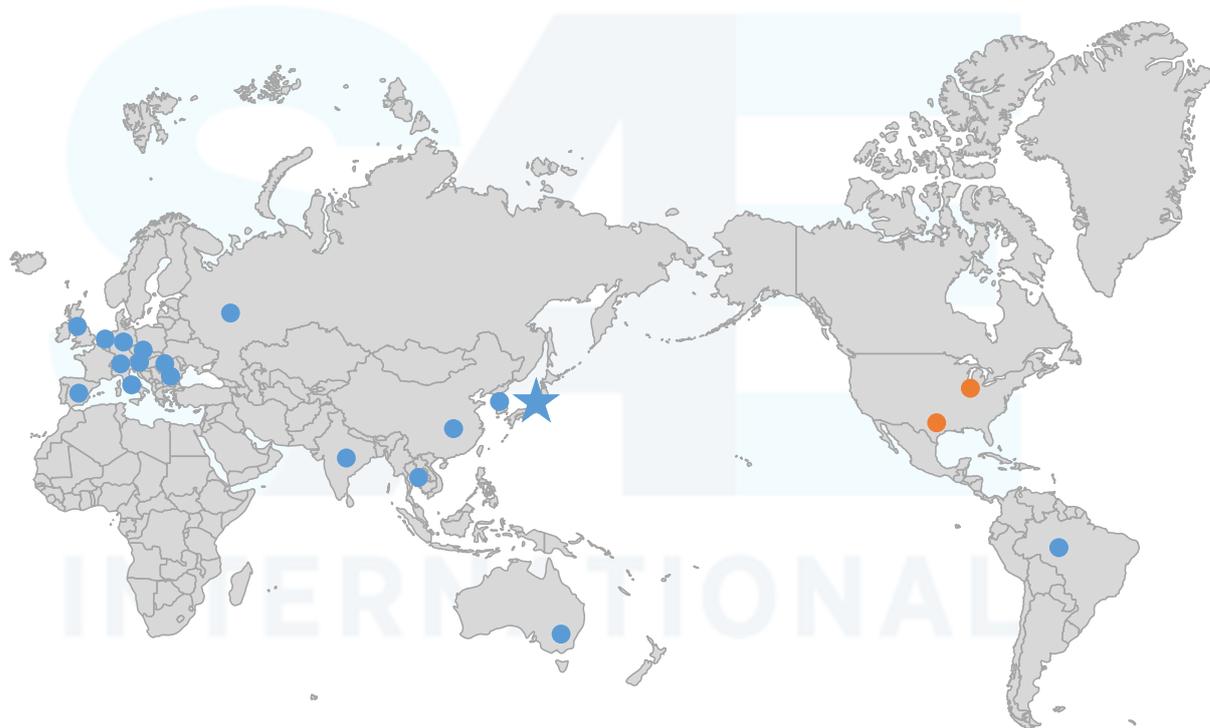
# 1. 学生フォーミュラとは

## Formula SAE Series



# 1. 学生フォーミュラとは

Formula SAE Series



# 1. 学生フォーミュラとは

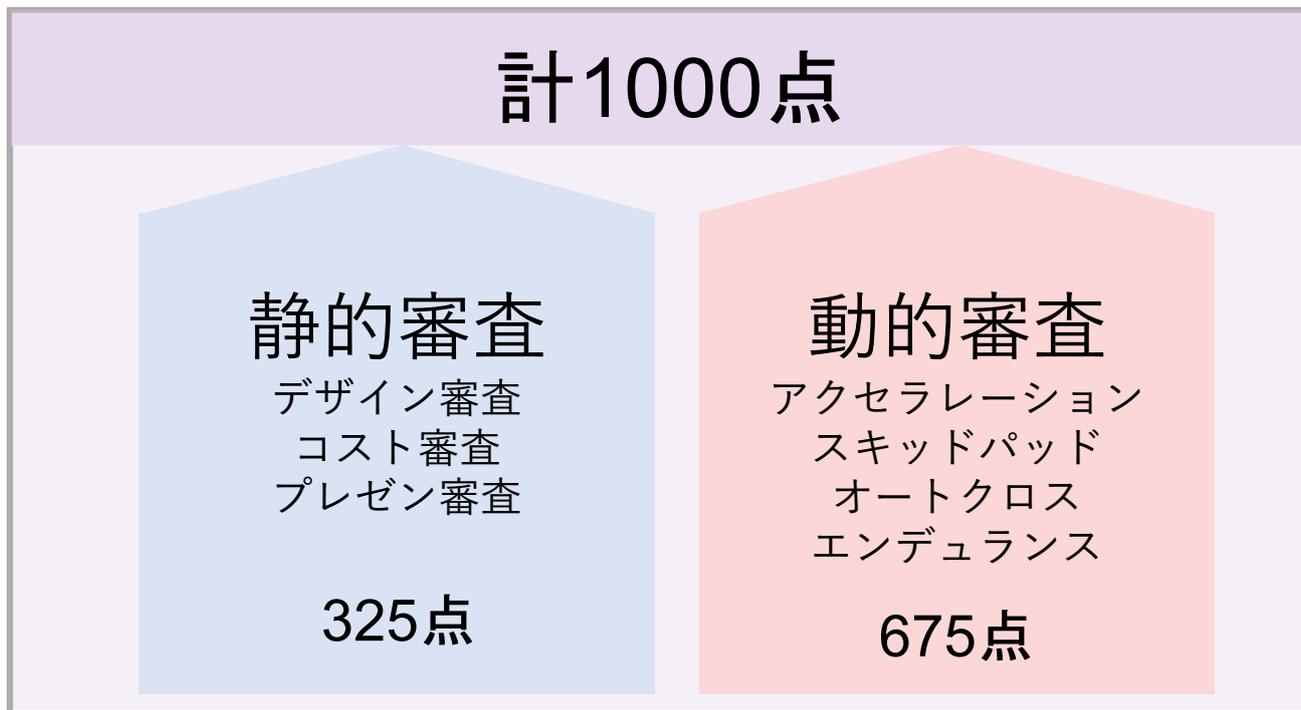
FSAEJ 学生フォーミュラ 日本大会

# FORMULA SAE®

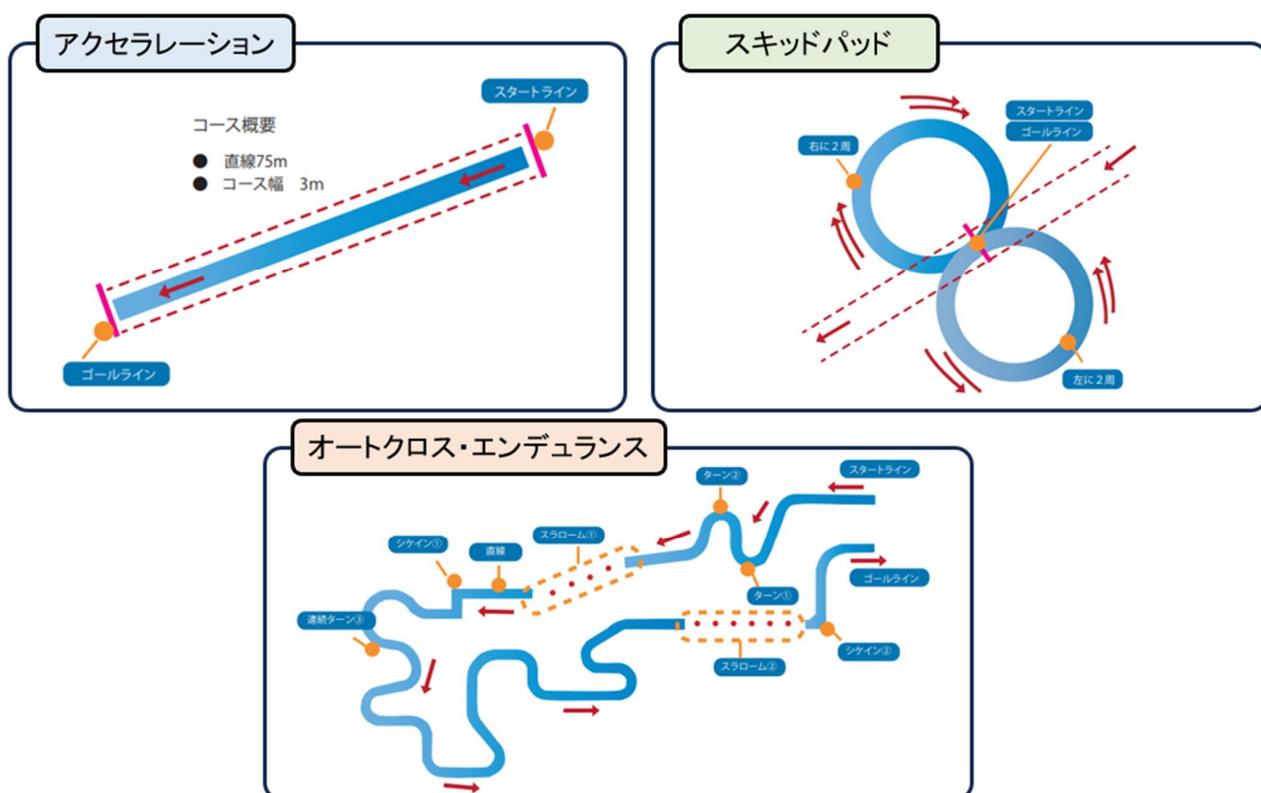


第1回大会 : 2003年  
主催 : 自動車技術会 (JSAE)

# 1. 学生フォーミュラとは



# 1. 学生フォーミュラとは



# 1. 学生フォーミュラとは

合計1000点で

**車輻性能**と**車輻企画**

の完成度を採点する

## 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

# TUT FORMULA

## 活動理念

# 「技術に触れ、肌で感じる」

- 2005年 創部
- 活動人数 20人



## 2. 自動車研究部について



TG01

TG03

TG09

TG13e

TG16e

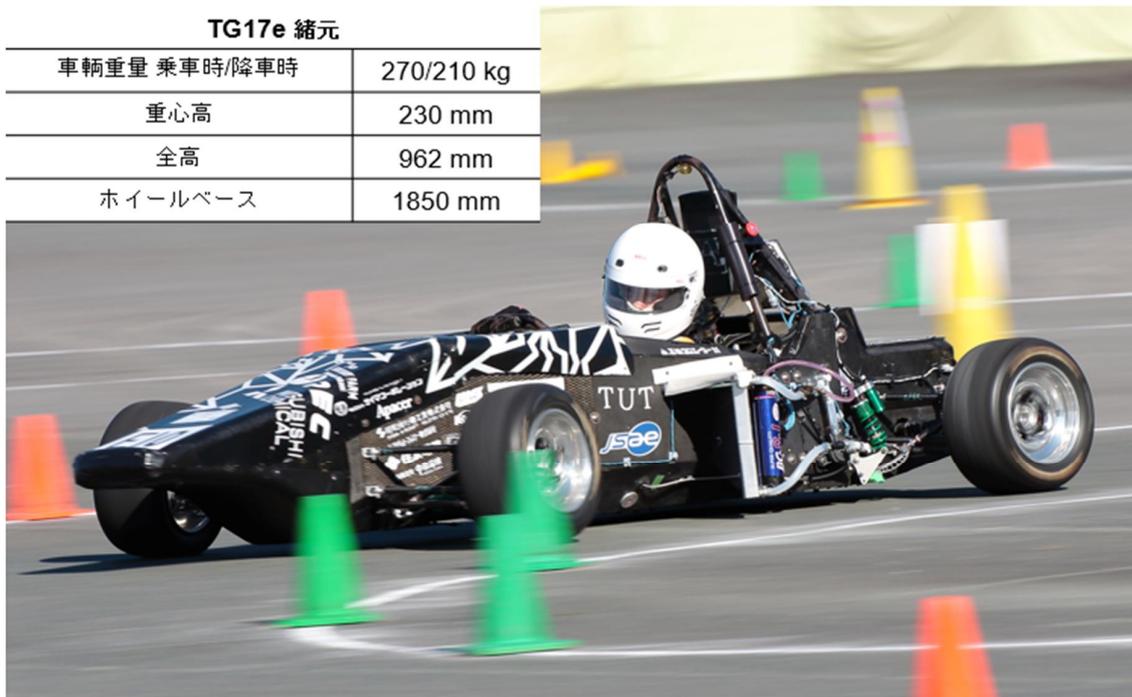


## 2. 自動車研究部について

### 2023シーズンの製作車輻

TG17e 緒元

車輻重量 乗車時/降車時	270/210 kg
重心高	230 mm
全高	962 mm
ホイールベース	1850 mm



## 2. 自動車研究部について

### TG17e コンセプト

# 低伸弾道

### TUT FORMULA の設計思想

- 軽量・低重心
- 高い加速性能・運動性能

# 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

## 3. 活動目的

将来の日本社会に貢献する

**技術者の育成**

# 3. 活動目的

最終目標

学生フォーミュラ 総合優勝！

速い車を作る

車を早く走らせる

**RACING CONSTRUCTOR**

**RACING TEAM**

# 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

# 4. 広報活動

## 日刊自動車新聞 「学生フォーミュラ2022日本大会 エントリーチーム紹介②」 紹介記事が掲載



2022シーズン  
 密着取材  
 YouTubeにて公開中

# 4. 広報活動

## ラジオ出演 「天伯之城ギカダイ」



学内に  
 ポスター掲示

# 4. 広報活動

## イベント出展



名古屋モビリティショー



Cars & Coffee



白浜 Eco-Carチャレンジ

国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# 4. 広報活動

こちらで詳しい活動内容を確認できます。



Instagram  
@tut\_formula



X(旧Twitter)  
@tut\_formula



HP  
<http://www.tut-f.com/>

# 目次

1. 学生フォーミュラとは
2. 自動車研究部について
3. 活動目的
4. 広報活動
5. スポンサーの募集

## 5. スポンサーの募集

### 資金支援



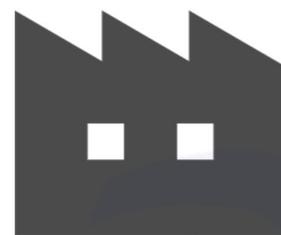
- ・ 活動資金の提供

### 物品支援



- ・ 商品提供 (無償・割引)

### 技術支援



- ・ 加工支援 (無償・割引)
- ・ 技術支援・指導

# 5. スポンサーの募集

個人スポンサー・企業スポンサー募集中！！  
連絡はこちらまで



info@tut-f.com



**TUT FORMULA**

# 学生フォーミュラ日本大会2024 開催概要

2024年9月9日(月)～14日(土)  
Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)



「技術に触れ、肌で感じる」  
学んだ知識・技術で困難を解決する。

2024シーズンに向けチーム一丸となって邁進していく所存でございます。



# 地震防災のキーワード —耐震化と情報化—

関東大震災から100年を経て、防災に関する様々な変化が見られます。特に、都市や建物の耐震化が進み、また、インターネットの普及により防災分野の情報化が進展しました。そこで、耐震化と情報化をキーワードに、それぞれの分野の専門家からお話を伺い、今後の地震防災について考えます。

日時：2024年2月23日〔金(祝)〕13:00 ▶ 16:30

定員：会場200名 + オンライン100名 (※オンライン参加は日本建築学会会員のみ)

参加費：無料 [事前申込制] ※左のQRコードよりお申込み下さい

建築 CPD  
対象プログラム

場所：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース  
愛知県豊橋市西小田原町123番地 豊橋駅南口から徒歩5分

お問合せ：豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター  
Email: carm@office.tut.ac.jp Tel: 0532-81-5157

12:30 開場

13:00 開会挨拶 寺嶋 一彦 豊橋技術科学大学長  
趣旨説明 齊藤 大樹 豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター長

13:15 基調講演 1 福和 伸夫 名古屋大学名誉教授  
耐震化 温故知新で 南海トラフ地震を考える  
基調講演 2 臼田 裕一郎 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長  
情報化 DXによる これからの防災

15:15 休憩

15:30 パネルディスカッション

16:30 閉会挨拶 能島 暢呂 岐阜大学 地域減災研究センター長

## 令和5（2023）年度 定例記者会見日程

第1回	5月17日（水）	10：30～	事務局3階大会議室
中止	<del>6月22日（木）</del>	<del>10：30～</del>	<del>事務局3階大会議室</del>
第2回	8月10日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第3回	9月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
中止	<del>10月26日（木）</del>	<del>10：30～</del>	<del>事務局3階大会議室</del>
第4回	12月14日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第5回	1月18日（木）	10：30～	事務局3階大会議室
第6回	2月22日（木）	10：30～	事務局3階大会議室

コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、オンラインにて開催することもあります。

定例以外に臨時で記者会見を行う場合があります。

以 上